

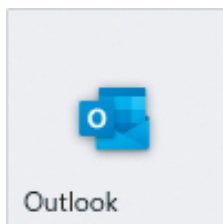
Microsoft Outlook[365等] の設定

Microsoft 365 Outlookの設定手順をご案内いたします。

※本ガイドはMicrosoft 365 Outlook(バージョン2302)に沿ってご案内しております。

メールアカウントの追加

STEP1 ソフトウェアの起動



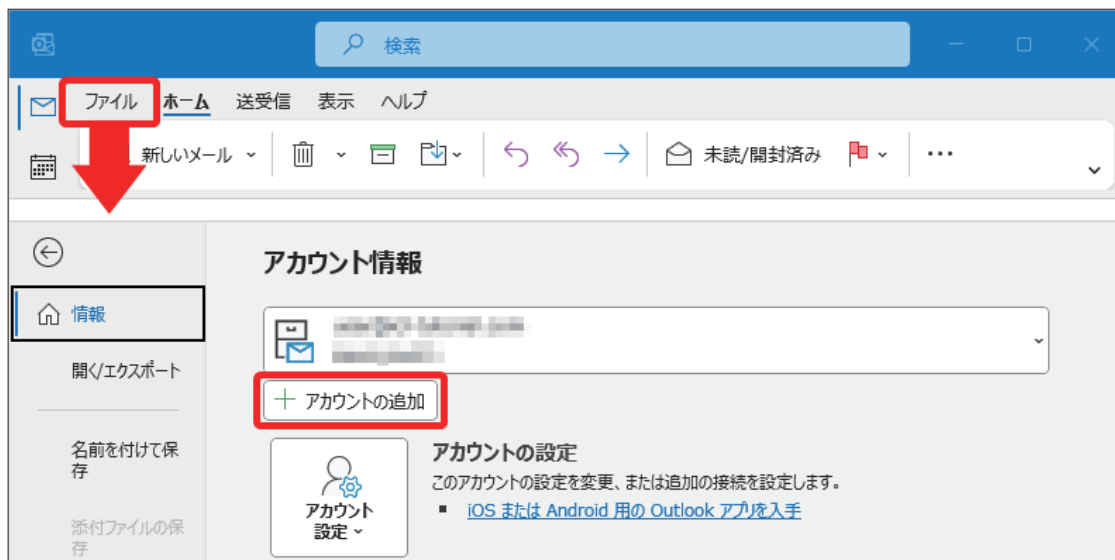
▲Outlookアイコン

STEP2 アカウント設定の追加

過去に他のメールアドレスを追加設定済みの場合

画面左上部の[ファイル]を選択します。

次に左メニューの[情報]が選択されていることを確認し、右側の[アカウントの追加]を選択します。



初めてOutlookにメールアカウント設定をされる場合

Outlookを起動後、「STEP3」のウィンドウが表示されます。

STEP3 アカウント設定の詳細設定

追加したいメールアドレスを入力後、[詳細オプション]から「自分で自分のアカウントを手動で設定」にチェック後、[接続]をクリックします。



STEP4 アカウントの設定

アカウントタイプを [POP] または [IMAP] から選択します。

POP(Post Office Protocol) ※推奨

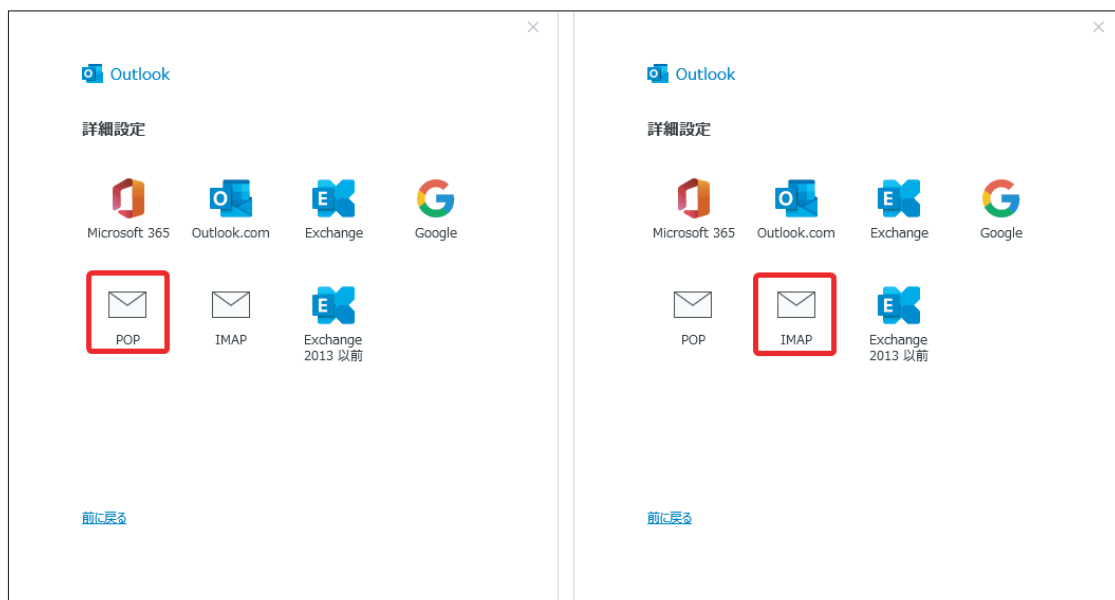
サーバーのメールボックスから、端末にメールデータをダウンロードする方式です。
その端末でのみ、メールを送受信される場合はPOPアカウントにしておくことで、端末にメールデータが保存されます。
メールデータのバックアップを目的として、比較的ディスク容量の大きいPCなどで、メールソフトに設定することを推奨しています。

メリット	<ul style="list-style-type: none">メールデータが端末に保存(ダウンロード)されるため、サーバー上のメールボックス容量の上限を超えてメールデータを保存できません。サーバー上のメールボックスにメールデータを残さなくて良いため、サーバー上のメールボックスの容量が逼迫しません。
デメリット	<ul style="list-style-type: none">メールデータが端末に保存(ダウンロード)されるため、メールソフトや端末自体の不具合や故障があった場合にメールデータが読み取れなくなる可能性があります。複数台で同じメールアドレスのメールを確認することもできますが、設定や管理が各端末に依存します。

IMAP(Internet Message Access Protocol)

サーバーのメールボックスに直接アクセスし、直接メールデータを読み取ります。
POPと違い、メールデータを端末に保存しないため、スマートフォンやタブレットなど、モバイル端末の設定に向いています。
また、同じメールアカウントで「Webメール(ブラウザ)」、 「モバイル端末」、 「PCのメールソフト」に同じメールアドレスのIMAPアカウントを作成しておくことで、用途にあわせてメールを便利にご利用いただけます。

メリット	<ul style="list-style-type: none">メールサーバー上にあるメールデータを直接読み取りに行くため、Webメール(ブラウザ)、モバイル端末、PCのメールソフトなど複数の端末から、同じデータを読むことができます。 ※各端末で送信メールの保存先を設定していない場合、送信メールのデータは同期されません。メールデータはサーバー上に保存されているため、メールソフトや端末自体の不具合や故障があった場合でもメールデータを読み取れます。
デメリット	<ul style="list-style-type: none">サーバー上のメールボックスにメールデータを保存しておく必要があるため、サーバー上のメールボックスの容量が超過するとメールを受信できなくなります。



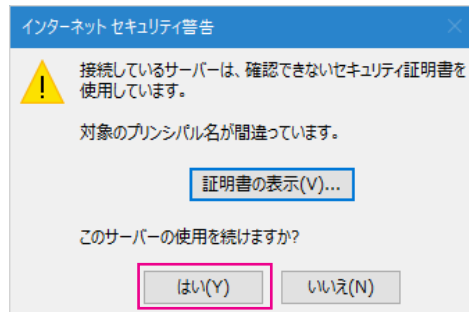
STEP5 POP接続をされる場合

メールのパスワードを入力して[接続]をクリックします。

※フォーム右端の「目のアイコン」をクリックすると入力したパスワードを確認できます。



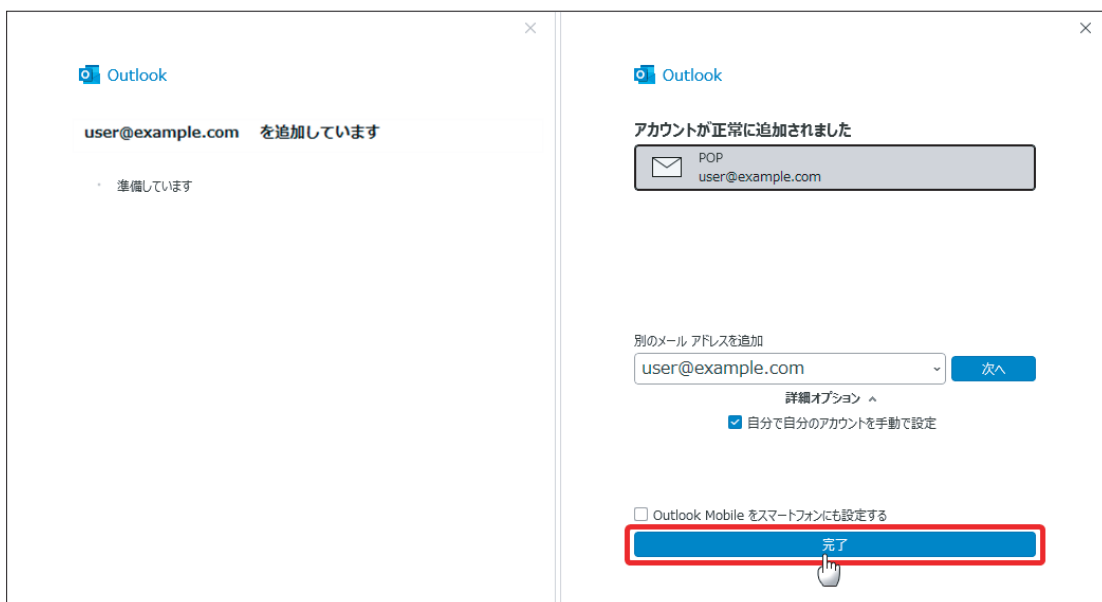
プリンシパルエラーが表示された場合は「はい」をクリックします。



STEP6 設定完了

メールアドレス・パスワードに問題がなければ設定完了となりますが、**まだこの時点ではセキュリティで保護されたメールの送信ができない状態**です。

そのため、次ページ以降のアカウント設定の変更を行っていただくことにより、セキュリティで保護された状態でのメール送受信が可能となります。



STEP5 IMAP接続をされる場合

メールのパスワードを入力して[接続]をクリックします。

※フォーム右端の「目のアイコン」をクリックすると入力したパスワードを確認できます。

プリンシパルエラーが表示された場合は「はい」をクリックします。

STEP6 設定完了

メールアドレス・パスワードに問題がなければ設定完了となりますが、**まだこの時点ではセキュリティで保護されたメールの送信ができない状態**です。

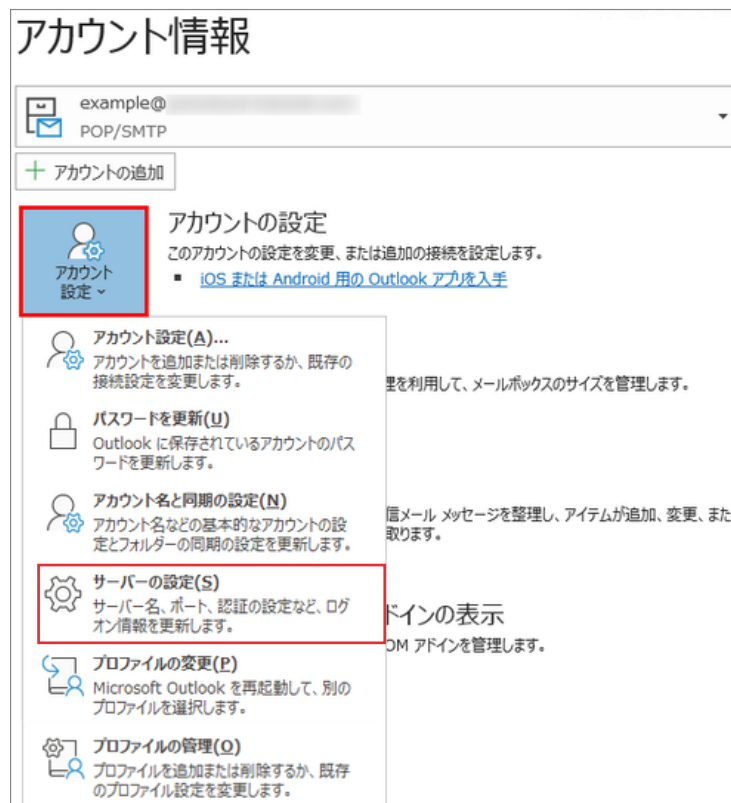
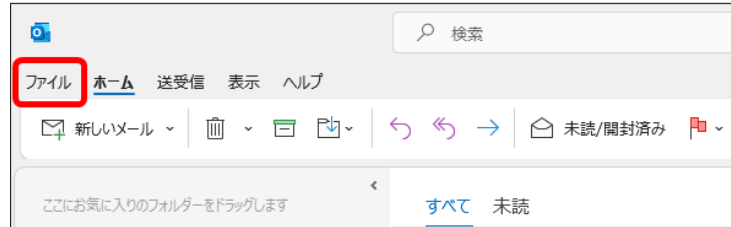
そのため、次ページ以降のメールアカウントの設定変更を行っていただくことにより、セキュリティで保護された状態でのメール送受信が可能となります。

メールアカウントの設定変更

STEP1 [ファイル]>[アカウントの設定]>[サーバーの設定]

画面左上部の[ファイル]を選択します。

次に左メニューの[情報]を選択し、設定を変更したいアカウントが選択された状態で[アカウントの設定]から[サーバーの設定]を選択します。



STEP2 POP接続をされる場合

必要な情報を変更し[次へ]をクリックすると、設定内容に問題がなければOutlookの設定情報が更新されます。

The image shows two side-by-side screenshots of the Outlook POP account settings window. The left screenshot shows the '受信メール' (Incoming Mail) settings, with red boxes highlighting the 'ユーザー名' (username), 'パスワード' (password), 'サーバー' (server), 'ポート' (port), and 'このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) が必要' (SSL/TLS required) checkbox. A red arrow points from the '送信メール' (Outgoing Mail) dropdown menu to the right screenshot. The right screenshot shows the '送信メール' (Outgoing Mail) settings, with red boxes highlighting the 'サーバー' (server), 'ポート' (port), '暗号化方法' (encryption method), and the '送信 (SMTP) サーバーには認証が必要です' (SMTP authentication required) checkbox. Below the left screenshot, a red arrow points to the '送信メール' dropdown with the text '↑ クリックして [送信メール] 設定に切り替え'.

受信メール		
ユーザー名	アカウント名(メールアドレス)	
パスワード	設定書に記載のパスワード	
サーバー	設定書に記載のいずれかのサーバー名 ●mail.blue.shared-server.net または ●mail.red.shared-server.net	
SSLあり ※推奨	ポート	995
	暗号化方法	このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) が必要:チェックを入れる
SSLなし	ポート	110
	暗号化方法	このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) が必要:チェックを入れない

送信メール		
サーバー	設定書に記載のいずれかのサーバー名 ●mail.blue.shared-server.net または ●mail.red.shared-server.net	
SSLあり ※推奨	ポート	465
	暗号化方法	SSL/TLS
SSLなし	ポート	587
	暗号化方法	STARTTLS
サーバー認証	送信 (SMTP) サーバーには認証が必要です:チェックを入れる	

STEP2 IMAP接続をされる場合

必要な情報を変更し[次へ]をクリックすると、設定内容に問題がなければOutlookの設定情報が更新されます。

The image shows two side-by-side screenshots of the Outlook IMAP account settings window. The left screenshot shows the '受信メール' (Incoming Mail) settings with fields for 'ユーザー名' (example@), 'パスワード', 'サーバー', 'ポート' (993), and '暗号化方法' (SSL/TLS). A red box highlights the '送信メール' dropdown menu. A red arrow points from this dropdown to the right screenshot. The right screenshot shows the '送信メール' settings with fields for 'サーバー', 'ポート' (465), and '暗号化方法' (SSL/TLS). A red box highlights the '送信 (SMTP) サーバーには認証が必要です' (Authentication is required for the outgoing (SMTP) server) checkbox, which is checked. Below it, the radio button for '受信メール サーバーと同じ設定を使用する' (Use the same settings as the incoming mail server) is selected. A red box also highlights the '次へ' (Next) button at the bottom right of the right screenshot.

受信メール		
ユーザー名	アカウント名(メールアドレス)	
パスワード	設定書に記載のパスワード	
サーバー	設定書に記載のいずれかのサーバー名 ●mail.blue.shared-server.net または ●mail.red.shared-server.net	
SSLあり ※推奨	ポート	993
	暗号化方法	SSL/TLS
SSLなし	ポート	143
	暗号化方法	なし

送信メール		
サーバー	設定書に記載のいずれかのサーバー名 ●mail.blue.shared-server.net または ●mail.red.shared-server.net	
SSLあり ※推奨	ポート	465
	暗号化方法	SSL/TLS
SSLなし	ポート	587 (STARTTLS)
	暗号化方法	STARTTLS
サーバー認証	送信 (SMTP) サーバーには認証が必要です:チェックを入れる	

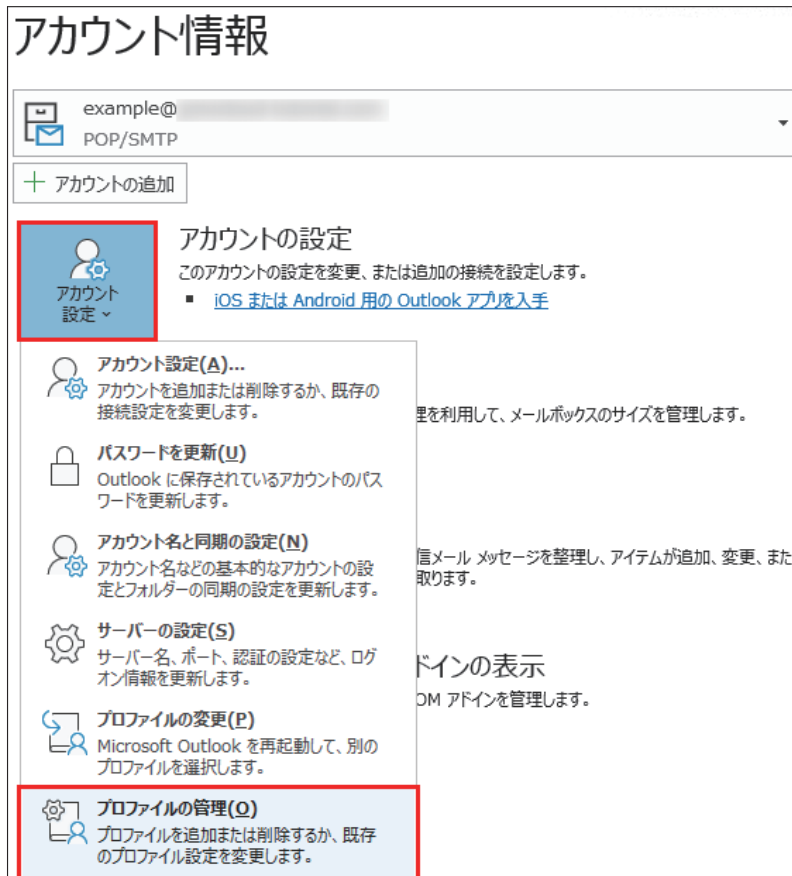
同一メールアドレスの追加

サーバーの移行時などで、同一のメールアドレスを新たに追加したい場合、Outlookの仕様上、同一のメールアドレスは[アカウントの追加]からの登録が行えません。
このような場合は、[アカウント設定]の[プロフィールの管理]から、設定できます。

STEP1 [ファイル]>[アカウントの設定]>[プロフィールの管理]

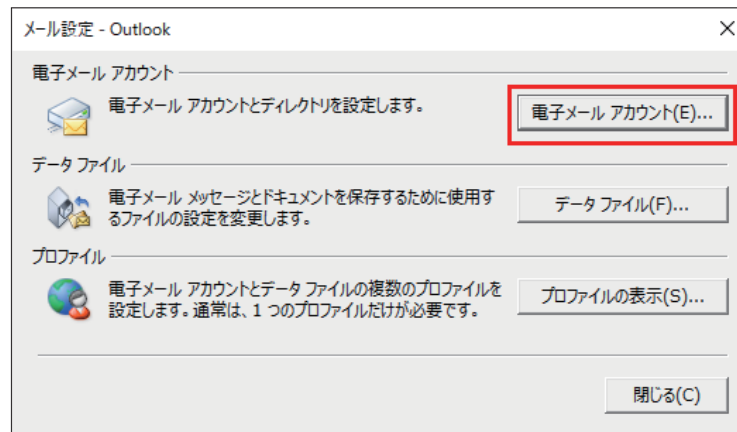
画面左上部の[ファイル]を選択します。

次に左メニューの[情報]が選択されていることを確認し、右側の[アカウントの設定]から[プロフィールの管理]を選択します。



STEP2 [電子メールアカウント]選択

「メール設定-Outlook」のウィンドウで[電子メールアカウント]をクリックします。



STEP3 アカウントの一覧上部の[新規]をクリックします



STEP4**アカウントの追加設定**

「アカウントの追加」のウィンドウで「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする(手動設定)」を選択して「次へ」をクリックします。

アカウントの追加

自動アカウント セットアップ
アカウントを手動で設定するか、または他の種類のサーバーに接続します。

電子メール アカウント(A)

名前(N):
例: Daiki Matsumoto

電子メール アドレス(E):
例: daiki@contoso.com

パスワード(P):
パスワードの確認入力(T):
インターネット サービス プロバイダーから提供されたパスワードを入力してください。

自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする (手動設定)(M)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル ヘルプ

STEP5**アカウントタイプの選択**

アカウントタイプは「POPまたはIMAP」を選択し、「次へ」をクリックします。

アカウントの追加

アカウント タイプの選択

Microsoft 365
Microsoft 365 アカウントの自動セットアップ

メール アドレス(E):
例: daiki@contoso.com

POP または IMAP(P)
POP または IMAP 電子メール アカウントの詳細設定

Exchange ActiveSync(A)
Exchange ActiveSync を使用するサービスの詳細設定

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル ヘルプ

アカウントの各種項目を入力し、右下の[詳細設定]をクリックして情報を入力します。

アカウントの追加 ✕

POPとIMAPのアカウント設定
お使いのアカウントのメールサーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報

名前(N):

電子メール アドレス(E):

サーバー情報

アカウントの種類(A):

受信メール サーバー(I):

送信メール サーバー (SMTP)(O):

メールサーバーへのログイン情報

アカウント名(U):

パスワード(P):

パスワードを保存する(S)

メールサーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェックボックスをオンにしてください(Q)

アカウント設定のテスト

アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。

[次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする(S)

新しいメッセージの配信先:

新しい Outlook データファイル(N)

既存の Outlook データファイル(X)

POP接続をされる場合

ユーザー情報	名前	任意の名前 (相手の方に表示させるお名前)
	電子メールアドレス	ご利用になるメールアドレス 例: example@example.com
サーバー情報	アカウントの種類	[POP3] ※変更できない項目です
	受信メールサーバー	設定書に記載のいずれかのサーバー名 ●mail.blue.shared-server.net または ●mail.red.shared-server.net
	送信メールサーバー	設定書に記載のいずれかのサーバー名 ●mail.blue.shared-server.net または ●mail.red.shared-server.net
メールサーバーへのログイン情報	アカウント名	[電子メールアドレス]と同じメールアドレス 例: example@example.com
	パスワード	メールアカウントのパスワード

詳細設定

[詳細設定] ウィンドウで [全般]、[送信サーバー]、[詳細設定] タブで各種項目を設定し、最後に [OK] を選択します。

The image displays three sequential screenshots of the 'インターネット電子メール設定' (Internet Email Settings) dialog box. The first screenshot shows the '全般' (General) tab, where the 'メール アカウント' (Email Account) section is highlighted with a red box, containing the instruction 'Outlook上で判別するためのアカウント名を任意名称で設定します'. The second screenshot shows the '送信サーバー' (Sending Server) tab, where the '送信サーバー (SMTP) は認証が必要 (O)' checkbox is checked, and the radio button for '受信メール サーバーと同じ設定を使用する (U)' is selected. The third screenshot shows the '詳細設定' (Advanced) tab, where the 'このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) が必要 (E)' checkbox is checked, and the '使用する暗号化接続の種類 (C)' dropdown menu is set to 'SSL/TLS'.

全般 タブ

メールアカウント	メールアカウント下部のフォームには、初期値でメールアドレスが設定されています。 ※初期値は「example@example.com (1)」など設定するメールアドレスの文字列 ※同一のメールアドレスを設定される場合、判別がつきやすい名称を任意で設定してください。 例:【新サーバー】example@example.com など
----------	--

送信サーバー タブ

送信サーバー (SMTP) は認証が必要	チェック ※初期ではチェックなし
受信メールサーバーと同じ設定を使用する	選択

詳細設定 タブ

	SSLを使用しない場合	SSLを使用する場合 ※推奨
受信サーバー (POP3) (I)	110 (規定値)	995
このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要 (E)	チェックなし	チェックあり
送信サーバー (SMTP) (O)	587	465
使用する暗号化接続の種類 (C)	STARTTLS	SSL/TLS

STEP6

IMAP接続をされる場合

アカウントの各種項目を入力し、右下の[詳細設定]をクリックして情報を入力します。

アカウントの追加 ✕

POPとIMAPのアカウント設定
お使いのアカウントのメールサーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報

名前(N):

電子メールアドレス(E):

サーバー情報

アカウントの種類(A):

受信メールサーバー(I):

送信メールサーバー (SMTP)(Q):

メールサーバーへのログイン情報

アカウント名(U):

パスワード(P):

パスワードを保存する(R)

メールサーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェックボックスをオンにしてください(Q)

アカウント設定のテスト

アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。

[次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする(S)

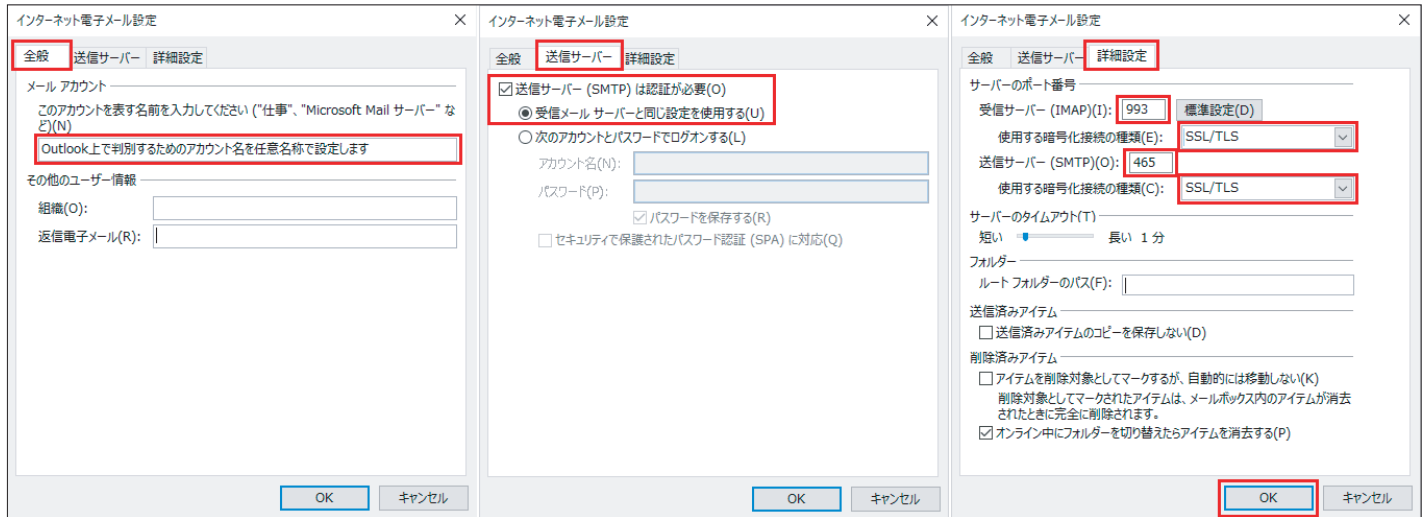
オフラインにしておくメール:

IMAP接続をされる場合

ユーザー情報	名前	任意の名前(相手の方に表示させるお名前)
	電子メールアドレス	ご利用になるメールアドレス 例:example@example.com
サーバー情報	アカウントの種類	[IMAP] ※変更できない項目です
	受信メールサーバー	設定書に記載のいずれかのサーバー名 ●imap.blue.shared-server.net または ●imap.red.shared-server.net
	送信メールサーバー	設定書に記載のいずれかのサーバー名 ●mail.blue.shared-server.net または ●mail.red.shared-server.net
メールサーバーへのログイン情報	アカウント名	[電子メールアドレス]と同じメールアドレス 例:example@example.com
	パスワード	メールアカウントのパスワード

詳細設定

[詳細設定] ウィンドウで[全般]、[送信サーバー]、[詳細設定] タブで各種項目を設定し、最後に[OK]を選択します。



全般 タブ

メールアドレス	メールアドレス下部のフォームには、初期値でメールアドレスが設定されています。 ※初期値は「example@example.com (1)」など設定するメールアドレスの文字列 ※同一のメールアドレスを設定される場合、判別がつきやすい名称を任意で設定してください。 例:【新サーバー】example@example.com など
---------	---

送信サーバー タブ

送信サーバー(SMTP)は認証が必要	チェック ※初期ではチェックなし
受信メールサーバーと同じ設定を使用する	選択

詳細設定 タブ

	SSLを使用しない場合	SSLを使用する場合 ※推奨
受信サーバー(POP3)(I)	143(規定値)	993
このサーバーは暗号化された接続(SSL)が必要(E)	チェックなし	チェックあり
送信サーバー(SMTP)(O)	587	465
使用する暗号化接続の種類(C)	STARTTLS	SSL/TLS

STEP7 アカウント設定のテスト

アカウント設定のウィンドウに戻りますので、最後に[次へ]をクリックし、「テストアカウント設定」のウィンドウで完了になることを確認して[閉じる]をクリックします。

POP接続の場合

テストアカウント設定

すべてのテストが完了しました。[閉じる] をクリックして続行してください。

中止(S)

閉じる(C)

タスク エラー

タスク	状況
✓受信メール サーバー (POP3) へのログイン	完了
✓テスト電子メール メッセージの送信	完了

IMAP接続の場合

テストアカウント設定

すべてのテストが完了しました。[閉じる] をクリックして続行してください。

中止(S)

閉じる(C)

タスク エラー

タスク	状況
✓受信メール サーバー (IMAP) へのログイン	完了
✓テスト電子メール メッセージの送信	完了

STEP8 完了

「アカウントの追加」ウィンドウで「すべて完了しました」のメッセージが表示されますので、[完了]をクリックします。

アカウントの追加

すべて完了しました

アカウントのセットアップに必要な情報がすべて入力されました。

Outlook Mobile をスマートフォンにも設定する(S)

別のアカウントの追加(A)...

< 戻る(B) 完了 ヘルプ

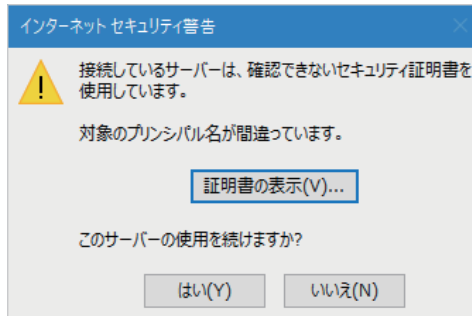
メール送受信時にプリンシパルエラーが表示される場合

共用サーバーでは、メールサーバーの証明書も弊社指定のホスト名でのご利用となります。

ご契約ドメイン名と異なるため、「pop.ドメイン名」、「imap.ドメイン名」、「smtp.ドメイン名」など、ご利用サーバー名以外で送受信サーバーの設定をされた場合、警告が表示される場合がございます。

なお、「はい」をクリックしていただいたあと問題なくご利用できますが、Microsoft Outlookの仕様により本警告は都度表示されます。

SSLのご利用をご希望で警告表示を回避したい場合には、送受信サーバー名を上記手順に記載の「ご利用サーバー名」にご変更後、エラーが解消するかをご確認ください。



【参考】サーバー移行などで、旧サーバー停止後に同期エラーが表示される場合

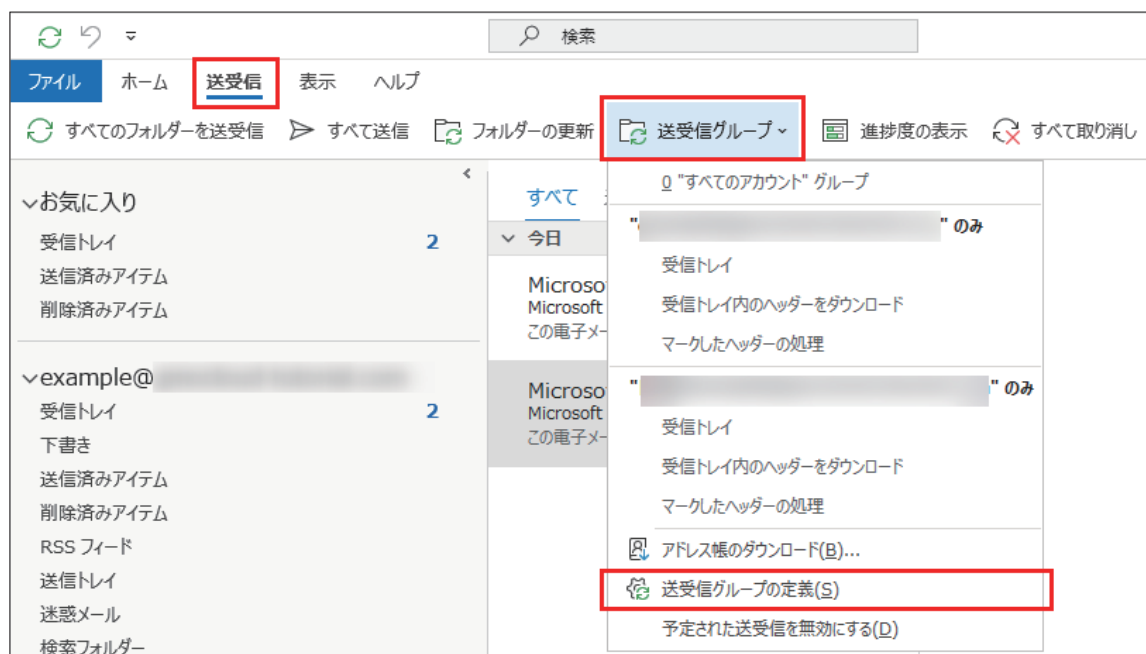
サーバー移行などで、新サーバーでの運用を開始した後、旧サーバーを停止されると、Outlookの設定状況により、旧サーバーへの接続が行えないためのエラーメッセージが表示される場合があります。

そのような場合は、以下の手順で旧サーバーへの接続を停止することでエラーを回避できます。

STEP1 [送受信グループの定義]を開く

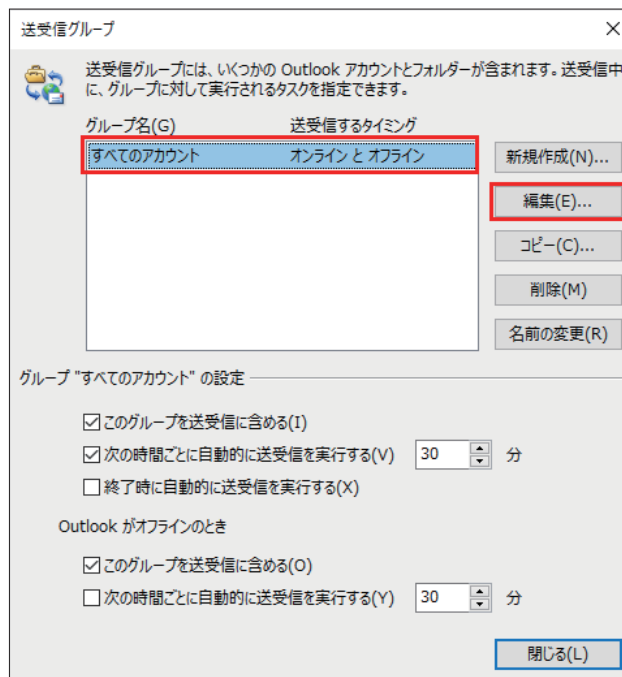
Outlookの[ホーム]タブが開いている画面で[送受信]タブを選択します。

[送受信グループ]を選択し、[送受信グループの定義]をクリックします。



STEP2 送受信グループの編集

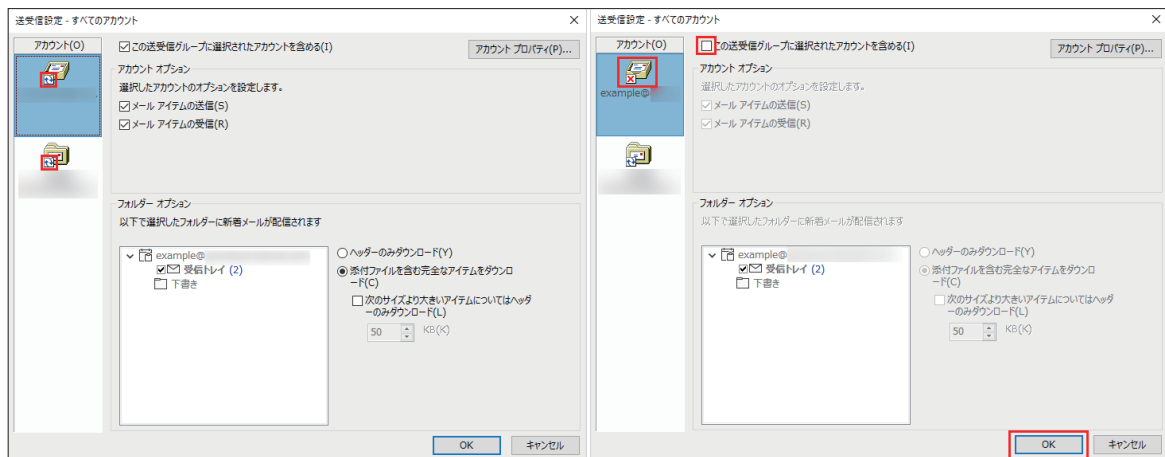
送受信グループウィンドウで「すべてのアカウント」が選択されていることを確認し、[編集]をクリックします。
[送受信グループ]を選択し、[送受信グループの定義]をクリックします。



STEP3 設定完了

「送受信設定-すべてのアカウント」ウィンドウで、複数のアカウントのトレイに「更新」のマークが表示されていることを確認します。

不要なアカウントを選択し、「この送受信グループに選択されたアカウントを含める」のチェックをはずし、[OK]をクリックします。



開いたウィンドウを[閉じる]で閉じていき、あらためて「すべてのフォルダーを送受信」をクリックし、エラーが表示されなくなったことをご確認ください。